



2023年 露地シャインマスカット・クイーンルージュ®病害虫防除暦

JA 中野市営農センター
JA 中野市ぶどう部会

散布日	散布時期	散布薬剤(水 100ℓ当り)	収穫前 使用時期	使用 回数	散布量 (ℓ/10a)	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
／	4月上旬 粗皮はぎ後 (発芽前)	特別散布 展着剤(ハイテンパワー) 10 ml ラビキラー乳剤 500 ml	発芽前	2回	300	ブドウトラカミキリ	① 発芽後の散布は薬害が発生するので散布時期を厳守する ② 訪花昆虫保護のため早朝散布を徹底する。
／	4月下旬 (発芽直前)	① 展着剤(ハイテンパワー) 10 ml デランフロアブル 500 ml	休眠期	1回	300	黒とう病 晩腐病	① 注意! デランフロアブルは葉焼け等の薬害が発生するため、発芽前に散布完了する。
／	5月初旬 カイガラムシ 特別対策	樹幹塗布 水 20 ml アルバリン顆粒水溶剤 20 g	幼果期まで	塗布 1回	1樹当り 20-40 ml	コナカイガラムシ類 クビアカスカシバ	塗布方法 ① 水:アルバリン=1:1で調合 ② 目安:直径10cm以上の樹20ml、直径20cm以上40ml ③ 主幹分岐部下30~50cm程度粗皮削りし塗布する。
／	5月上旬 (発芽直後)	② 展着剤(ハイテンパワー) 10 ml モスピラン顆粒水溶剤 50 g	14日前	3回	300	ツマグロアオカスミカメ カイガラムシ類	① 訪花昆虫保護のため早朝散布を徹底する。 ② モスピラン顆粒水溶剤に代えてスミチオン水和剤40の1,000倍(21日前、2回)を使用してもよい。
／	5月中旬 展葉3枚頃	③ 展着剤(ハイテンパワー) 10 ml トレノックスフロアブル 100 ml	60日前	2回	300	黒とう病 べと病 晩腐病	① ツマグロアオカスミカメ対策:ダイアジノン水和剤34の1,000倍(30日前、2回)を加用する。
／	5月下旬 展葉6枚頃	④ 展着剤(ハイテンパワー) 10 ml トランスフォームフロアブル 50 ml オーソサイド水和剤80 125 g	3日前 30日前	3回 3回	300	べと病・灰色かび病 晩腐病・黒とう病 カイガラムシ類	① 今回防除から概ね10日間隔の散布を目安とする。
／	6月上旬 展葉9枚頃	⑤ 展着剤(ハイテンパワー) 10 ml ドーシャスフロアブル 50 ml	60日前	3回	300	べと病 晩腐病 黒とう病	① カスミカメ類・カイガラムシ類対策:コルト顆粒水和剤3,000倍(前日、3回)を加用する。
／	6月上旬 展葉9枚頃	展着剤(ハイテンパワー) 10 ml ストマイ液剤20 100 ml	満開予定日の 14日前~ 開花始期	1回	300	無種子化	① 注意! 有核巨峰には飛散しないようにする。 ② 満開予定の14日前は概ね展葉9枚目頃に該当する。散布遅れないようにする。
／	6月上旬 展葉7~11枚頃	展着剤(ハイテンパワー) 10 ml フラスター液剤 ml	新梢展開葉 7~11枚時	2回	150	着粒増加 新梢伸長抑制	① 品種により倍率が異なるため、散布前に必ず登録内容(ラベル等)を確認する。 シャイン・ルージュ:1,000~2,000倍 ② 弱樹勢や若木等は新梢伸長が弱る可能性があるため、散布を控える。
／	6月中旬 開花直前	⑥ 展着剤(ハイテンパワー) 10 ml パレード15フロアブル 50 ml オーソサイド水和剤80 125 g トクチオン水和剤 125 g	7日前 30日前 45日前	2回 3回 3回	400	べと病・灰色かび病 晩腐病・褐斑病 黒とう病 アザミウマ類 コナカイガラムシ類	① 主幹害虫対策:主幹・主枝等にも薬液が到達するようにする。 ② アザミウマ類対策:花穂(軸部)に薬液が到達するようにする。
／	前回から 10日後 (落花直後)	⑦ コテツフロアブル 50 ml スイッチ顆粒水和剤 33 g ジマンダイセン水和剤 100 g	60日前 30日前 45日前	2回 2回 2回	400	べと病・灰色かび病 晩腐病・褐斑病・黒とう病 チャノキアザミウマ ミカンキアザミウマ コガネムシ類	① 注意:ジマンダイセン・ゾーバック等の成分がマンゼブを含む農薬は、年間の使用回数を2回までとする。 ② サビ防止対策:落花状況(花冠の飛び等)を確認して散布する。 ③ 果紛溶脱防止:展着剤は今回から第10回まで使用しない。
／	前回から 10日後 (落花10日)	⑧ フェニックスフロアブル 25 ml アドマイヤー顆粒水和剤 10 g ゾーバックエニベル顆粒水和剤 133 g	14日前 21日前 45日前	2回 2回 2回	400	べと病・晩腐病 アザミウマ類 コナカイガラムシ類 スカシバ類	① 注意:ジマンダイセン・ゾーバック等の成分がマンゼブを含む農薬は、年間の使用回数を2回までとする。 ② 農薬汚れ対策代替:ゾーバックエニベル顆粒水和剤に代えて、ホライズンドライフロアブル2,500倍(21日前、3回)を使用する。
／	前回から 10日後 (落花20日)	⑨ レーバフロアブル 50 ml アミスター10フロアブル 100 ml カナメフロアブル 25 ml ディアナWDG 10 g	7日前 30日前 前日 前日	3回 3回 3回 2回	400	べと病・灰色かび病 晩腐病・褐斑病・黒とう病 アザミウマ類 クビアカスカシバ	① 代替:レーバフロアブルに代えて、ザンプロDMフロアブル2,000倍(30日前、2回)でもよい。ただし、農薬汚れ(果紛溶脱)に注意する。
／	前回から 10日後 (落花30日)	⑩ ライメイフロアブル 25 ml オンリーワンフロアブル 50 ml アーデントフロアブル 50 ml	14日前 前日 前日	3回 3回 4回	400	べと病・灰色かび病 晩腐病・褐斑病・黒とう病 ハダニ類 アザミウマ類	① 袋かけ直前の散布とする。 ② ルージュ晩腐病・黒とう病強化対策:オンリーワンフロアブルに代えて、ミギワ20フロアブル2,000倍(前日、3回)を使用する。
／	7月下旬 (袋掛直後)	⑪ 展着剤(アビオン-E) 50 ml ムッシュボルドーDF 200 g アルバリン顆粒水溶剤 50 g	— 前日	— 3回	400	べと病・さび病 チャノキアザミウマ ブドウトラカミキリ カメムシ類 コナカイガラムシ類	① ハダニ類 対策:コロマイト水和剤2,000倍(7日前、2回)を加用する。 ② クビアカスカシバ対策:パダンSG水溶剤1,500倍(21日前、5回)を加用する。 ③ ムッシュボルドーを使用する場合は、高温時や降雨後の散布で薬害を生じる恐れがあるため、クレフノン100倍を加用する。
／	8月上旬 (前回から 10日後)	⑫ 展着剤(アビオン-E) 50 ml ICボルドー66D 2.5 kg テルスター水和剤 100 g	— 14日前	— 1回	400	べと病・晩腐病 黒とう病・さび病 チャノキアザミウマ	① コガネムシ類対策:テルスター水和剤に代えて、イカズチWDG,500倍(21日前、5回)を使用する。ただし、早生種は収穫前規制に注意する。
／	8月中旬 (前回から 10日後)	⑬ 展着剤(アビオン-E) 50 ml ICボルドー66D 2.5 kg	—	—	400	べと病・晩腐病 黒とう病・さび病	① ICボルドー66D代替 ムッシュボルドーDF500倍又はコサイド3000の2,000倍でもよい。ただし、ムッシュボルドーやコサイド3000を使用する場合は、高温時や降雨後の散布で薬害を生じる恐れがあるため、クレフノン100倍を加用する。
／	8月下旬 (前回から 10日後)	⑭ 展着剤(アビオン-E) 50 ml ICボルドー66D 2.5 kg	—	—	400	べと病・晩腐病 黒とう病・さび病	① ICボルドー代替:前項同様 ② 収穫中のナガノパープル等に飛散しないように注意する。
／	9月上旬 (除袋直前)	特別散布 展着剤(アビオン-E) 50 ml ICボルドー66D 2.5 kg	—	—	400	べと病・晩腐病 黒とう病・さび病	① ICボルドー代替:前項同様 ② 収穫中のナガノパープル、巨峰等に飛散しないように注意する。

◆ 安全・安心の農産物生産のために使用基準を厳守しましょう。

当防除暦の複製・コピーを禁止します。

◆ 混用例:展着剤 ⇒ 液剤 ⇒ 乳剤 ⇒ 顆粒水溶剤 ⇒ 水溶剤 ⇒ フロアブル ⇒ ドライフロアブル(DF) ⇒ 顆粒水和剤(WDG) ⇒ 水和剤